

平成29年度 第1回窯業技術研究所運営委員会 会議録

- 日 時：平成29年5月10日 16時から17時15分まで
- 場 所：瑞浪市産業振興センター 3階中会議室
- 出席者：委 員 小島史昭（委員長）、田口典宏（副委員長）、加藤精三、渡辺一美
和田 孝、足立公子、河口建喜、加藤安司
瑞浪市長 水野光二
- 欠席者：委 員 金津洋一、松崎捷也、可知節男
- 事務局（窯業技術研究所）：加藤正夫（所長）、安齋久嗣、大野万里子

開 会

【事務局】

本日はご多忙のところ、ご出席を賜りありがとうございます。

始める前に本会についてご説明いたします。

— 運営委員会と附属機関について説明 —

これより、平成29年度第1回窯業技術研究所運営委員会を開催いたします。本日の会議は8名の委員にご出席をいただいておりますので、運営委員会規則第4条2項の規定により、会議が成立していることをご報告いたします。

それでは、次第に基づいて進めさせていただきます。

次第1. 委員長あいさつ

【委員長】

お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。

先月から「ちゃわん屋みずなみ」が復活いたしまして運営しております。瑞浪の窯業の発信拠点として頑張っていく所存ですのでご支援いただき、皆さんに足を運んでいただけたらと思っております。

今年は9月16日から国際陶磁器フェスティバルが開催されます。市内では大湫町の「オオクテツクルテ」、陶町の「与左衛門窯まつり」がフェスティバルの関連事業となっており、また、9月24日に「ちゃわん屋みずなみ」で陶器まつりを行いますので、皆さんのご意見がございましたら反映していきたいと思っております。

これより運営委員会をはじめますので、ご協力よろしく願いいたします。

次第２．市長あいさつ

【市長】

本日は窯業技術研究所運営委員会というところで皆さまにおかれましては窯業研究所の運営、事業に関しまして別段のご支援を賜りまして厚く御礼申し上げます。

窯業技術研究所につきましては新しい研究開発や商品化に取り組んでおり、耐熱タイルなどの研究の成果が実りつつあります。また、瑞浪の陶磁器の優れた伝統技術を後世に伝える事業として進めておりました上絵付け技術の映像が完成いたしました。素晴らしい映像になっておりますので、若い方々に技術が継承されていけばと期待しています。食器デザイン展に関しましても、子供たちに地元の陶磁器産業を身近に感じていただける機会になっております。市内の陶磁器工業協同組合が開催した新春見本市では、今年は会期を３日間にして市内の小中学生に見てもらおう企画を立て、参加した子供たちからは「私たちの町でこんなに素晴らしい食器がつくられていることに感激しました」という感想も届いております。

今後の窯業技術研究所の運営に関しまして、委員のみなさんからご意見、ご指導をいただき、成果を上げていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

次第３．議題

（１）瑞浪市窯業技術研究所運営委員会 傍聴規程について

【事務局】

これより議題に入ります。進行は規則第４条により委員長が議長を務めます。

【議長（委員長）】

議題（１）瑞浪市窯業技術研究所運営委員会傍聴規程について事務局より、説明をお願いします。

— 事務局「資料１」に基づき説明 —

【議長（委員長）】

このことについて、ご質問等あればお願いします。

〈意見・質問なし〉

傍聴規程を認める方は拍手をお願いします。

拍手多数と認め、瑞浪市窯業技術研究所運営委員会傍聴規程を定めることとします。

（２）平成２８年度事業報告について

【議長（委員長）】

議題（２）平成２８年度事業報告について、説明をお願いします。

— 事務局「資料2」に基づき説明 —

【議長（委員長）】

このことについて、ご質問等あればお願いします。

【委員】

伝承事業の講座は地元の方が参加されていますか。

【事務局】

市内の陶磁器関連企業に勤めている若手の方へ組合を通して毎回募集をしています。また、市内の若手陶芸作家の方に声をかけて参加して頂くこともあります。

【委員】

福祉施設等で陶芸作品や製品を制作して販売をしている事例が他の地域であるが、市内の福祉施設等を対象にして講座を開催したりしても良いのではないか。

【委員】

伝承技術の技術者を紹介してもらえる仕組みや、技術者の方を各地に派遣して講座を行うことは出来ないだろうか。また、陶磁器には関係する様々な技術があり、その技術継承の努力を私たちもしていきたい。

【委員】

陶磁器業界で働く若い人が技術を習い、企業で使える技術を身につけて欲しい。また市内に限らないで技術継承を考えていただき、市外からも募集をしてはどうか。横の繋がりが出来るのは大切なことで、幅広い人たちと人脈や交流ができる機会になる。

【議長（委員長）】

今は市内のみの募集となっているので、検討してはどうかと思います。

議題（2）平成28年度事業報告について承認いただけましたら拍手をお願いします。

拍手多数と認め、承認いたします。

（3）平成29年度事業計画について

【議長（委員長）】

議題（3）平成29年度事業計画について、説明をお願いします。

— 事務局「資料3」に基づき説明 —

【議長（委員長）】

今年度からの新規事業はありませんか。

【事務局】

新規事業はありませんが、本日いただきましたご意見を参考に事業に反映できればと思います。

【議長（委員長）】

平成29年度事業計画について、ご質問等あればお願いします。

〈意見・質問なし〉

事業計画を認める方は拍手をお願いします。

拍手多数と認め、議題（3）平成29年度事業計画は承認いたします。

議題（1）から（3）まで、承認いただいたということで議事を終了いたします。

次第4. その他 DVD「伝承上絵付け技術」

【事務局】

平成28年度伝統技術伝承事業で上絵付けの職人技を後世に伝えていくことを目的に映像制作を行いましたので、ご覧いただきたいと思います。

— 「伝統上絵付け技術」の映写・解説 —

【事務局】

映像は今後の技術講座等で活用して技術継承を進めてまいります。また、陶磁資料館にて映像資料として放映していく予定となっております。

これもちまして閉会といたします。慎重な審議をしていただきまして、ありがとうございました。